

平成 20 年岩手・宮城内陸地震 初動調査報告(その 1)修正版

調査日：2008 年 6 月 14 日(土)

調査者：東北大学災害制御研究センター(源栄, 大野, 佐藤, 本間, 学生 7 名)

調査目的：日本建築学会東北支部災害調査連絡会協議(2008.6.16)のための初動調査

調査経路：東北大学出発(14:20 頃) 仙台宮城 I.C—築館 I.C

⇒①栗原市立築館中学校(15:30 頃)

- 構造的被害は外見上見られない。窓ガラスの割れもない。Photo-1
- 1 階教室(保健室, 理科準備室等)内の室内散乱も見られない。Photo-2

⇒②栗原市築館体育センター(体育館)(15:50 頃)

- 軒天パネル 30 枚程度落下。Photo-3, Photo-4
- ガラス割れ(2 箇所)。
- 自動販売機移動。

⇒③築館藤木地区(16:20 頃)

- 石灯籠の傘(石)の落下。Photo-5

⇒④栗原中央病院(拠点病院, 免震構造)(16:40 頃)

- ドライエリア取り合い部。Photo-6(異常なし), Photo-7(一部床めくれ)
- 医局カルテ散乱なし
- ライフラインの供給支障なし, 建築設備被害なし
- 入院患者の地震による病状変化なし
- D-MAT16 チーム

⇒⑤栗原市一迫総合支所(震度情報ネットワークサイト)(17:30 頃)

- 付近の民家のブロック塀(二重ブロック塀の間に土と植栽)倒壊。Photo-8, Photo-9

⇒⑥地域産物展示即売施設 あやめの里

- 瓦屋根被害。Photo-10
- ガラス割れ。室内にあったはずの観葉植物の鉢がガラスを突き破った可能性。Photo-11

⇒⑦栗原市立一迫小学校(平成 6 年竣工)

- 構造的被害は外見上見られない。Photo-12
- 渡り廊下屋根瓦の一部ずれ。Photo-13, Photo-14
- 教室内の散乱なし

⇒⑧龍雲寺(16:30 頃)

- 石灯籠倒壊。Photo-15
- しっくい壁一部剥離。Photo-16

東北大学到着(20:40 頃)

総括 上記の調査経路については, 建築的な被害箇所散在しており, 線状や面的な広がりは見られない。被害程度も上記の通り軽微であることが多い。明日(6 月 15 日)は大崎市古川地域を中心に初動調査予定。

以上

写真



Photo-1



Photo-2



Photo-3



Photo-4



Photo-5



Photo-6



Photo-7



Photo-8



Photo-9



Photo-10



Photo-11



Photo-12



Photo-13



Photo-14



Photo-15



Photo-16

作成(佐藤 健)